01-05

株式会社 LocalRevolution

地域資源：農林水産物、加工副産物
事業分野：食品、福祉
事業主体：商品・ブランド開発、農林漁業者

○余剰資源の活用で地域課題解決。マイワシを加工販売し人気商品化、廃棄削減と雇用創出。おからと脱脂粉乳で菓子を開発し低利用食品の価値向上を図る取り組み。地元連携で販路拡大と持続的価値創出を目指す。

基本情報

- 所在地：北海道函館市

- 選定表彰：
・ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）グランプリ
・北海道新技術・新製品開発賞優秀賞（R6）
・食絶景北海道×ゼロカーボンアワード奨励賞受賞（R6）
・コープさっぽろ農業賞交流賞優秀賞受賞（R5）
・北海道新技術・新製品開発賞大賞（R5）

- 主力商品：
・ハコダテアンチョビ
・おまめとみるくに花束を（生フロランタン）

取組の概要

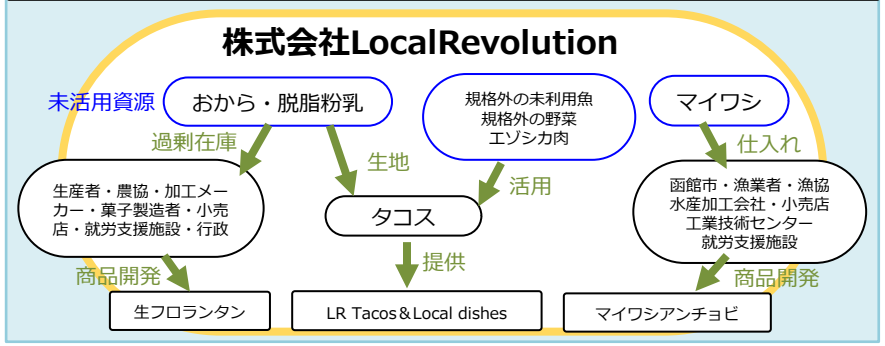
○ 未利用・低利用魚となっているマイワシの価値を高める「ハコダテアンチョビプロジェクト」を始動。函館市、漁業者、水産加工会社、就労支援施設、小売店、工業技術センターなどと官民一体で取り組み、世界初となるマイワシのアンチョビを開発した。
未活用マイワシから、アンチョビ、アンチョビソース、ナンプラーと商品展開した。
令和５年北海道新技術・新製品開発賞大賞、その他多くの賞を受賞している。
○ 栄養価も高いながら低利用である「脱脂粉乳」「おから」を、生産者、農業協同組合、加工メーカー、菓子製造者、就労支援施設、小売店、行政などと連携し、「生フロランタン」として商品化し、令和６年度北海道新技術・新製品開発賞優秀賞を受賞。
○ 函館市に地域課題解決型実店舗「LR Tacos＆Local dishes」では、未活用食材に光を当て、おからや脱脂粉乳のトルティーヤ生地に規格外の未利用魚・エゾシカ肉・規格外の野菜を包んだタコスを提供している。


ハコダテアンチョビプロジェクト


マイワシのアンチョビ


生フロランタン

体制図



取組の成果

○ハコダテアンチョビシリーズの売上
1,000万円（R5）→1,500万円（R6）
○ おまめとみるくに花束を-生フロランタン-の売上
200万円（R5）→400万円（R6）
○ LR Tacos＆Local dishesの売上
180万円（R5）→330万円（R6）

ウェブサイト▶https://localrevolution1127.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

01-06

株式会社 えづらファーム

地域資源：農林水産物、景観
事業分野：観光、旅行
事業主体：農場

○白滝地区（人口約450人）で、農泊受入れは年間約1,500人（うちインバウンド6割）、住み込みボランティアは年間約50人を受け入れ、57haの畑作を運営。農業体験や民宿等を通じて交流人口を創出し、地域イベントにも積極参加。

基本情報

- 所在地：北海道遠軽町
- 選定表彰：
  - 「わが村は美しく－北海道」運動 第10回コンクール（R3,4 北海道開発局）：大賞審査委員特別賞
  - 第10回コープさっぽろ農業賞（H29）：優秀新規就農者賞
  - 北海道農業公社　新規就農　優良農業経営者表彰「最優秀賞」（R4）
- 主力商品・イベント：
  - 農業ボランティア、企業研修
    農家民宿、農家レストラン
- 活用した支援施策：
  - 創業補助金（H26）
  - 中小企業等事業再構築補助金事業（R4）
  - 遠軽町企業振興促進制度（R6）

取組の概要

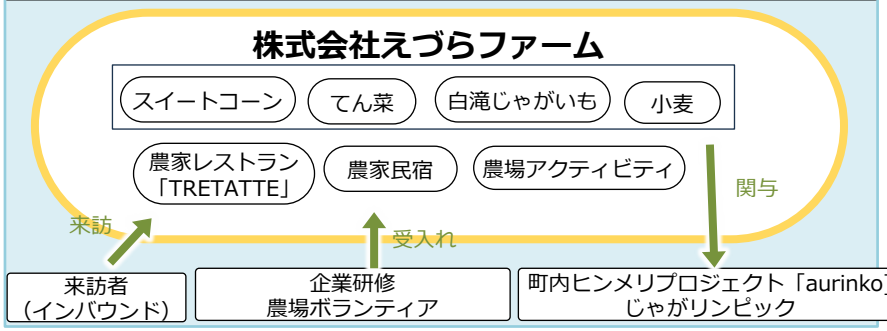
○白滝地区（旧白滝村）の人口約450名（R7）に対して、年間約1,500人（うちインバウンド6割）の農泊受け入れをしている。
○住み込みボランティアは年間約50名を受け入れをしている。
○農作業の住み込みボランティア・企業研修の受入れ、農家民宿・農家レストラン、農場アクティビティの提供で、地域人口以上の交流人口を生み出している。
○白滝じゃが生産部会が実施するジャガイモ料理コンテスト「じゃがリンピック」、えんがるヒンメリの会aurinkoなどに積極的に関与し、地域おこしに取り組んでいる（ヒンメリ：麦わらを使った装飾品）。


農家レストラン「TRETATTE」


農家レストランの料理


農業体験の来訪者

体制図



取組の成果

○農場の売上：約4,500万円（R1）→　約8,500万円（R7）

○宿泊者数：435人（R1）→　1,487人（R7）

ウェブサイト▶https://www.ezurafarm.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

01-07

特定非営利活動法人 楽園プロジェクト

地域資源：農林水産物
事業分野：食品、福祉
事業主体：NPO法人（就労継続支援B型事業所）

○「戦力になる農福連携」をテーマに、24時間365日作業受託可能な体制で農作業チームを結成し、平均工賃9.5万円以上を実現、一般就労への移行を推進。冬場には荒廃農地を利用して菌床椎茸栽培を行い、年間を通じた作業を創出。

基本情報

- 所在地：北海道札幌市
- 選定表彰：
  ・ノウフク・アワード2025優秀賞
- 主力商品・イベント：
  ・菌床椎茸
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農福連携対策）（R7）

取組の概要

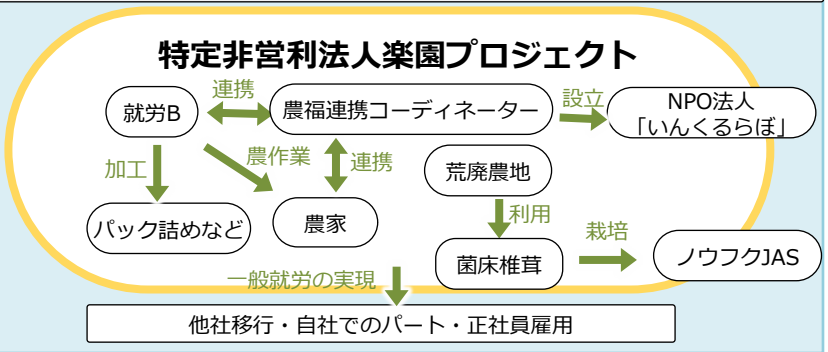
○「戦力になる農福連携」をテーマに、24時間365日作業受託可能な体制を構築し、年間通して約30戸の契約農家から安定した作業受託を実現。就労継続支援B型の利用者からステップアップした職員で結成した「チームグリーン」は少数精鋭で運営され、月額平均工賃9.5万円以上を実現するとともに、一般就労への移行にもつなげている。
○町所有の空き家の交流センターを借用し、障害者福祉を基盤とした取組の強化のための相談窓口として、NPO法人「いんくるらぼ」を設立。
○夏場はきくらげ、路地ではさつまいも、冬場の仕事創出のため、荒廃農地を活用し菌床椎茸を栽培するなど、年間を通じた作業を確保。椎茸でノウフクJASを取得（R6）し、農家との協働による高付加価値化を進め、持続的な事業モデルを構築。


農作業の様子


椎茸の収穫


袋詰め作業

体制図



取組の成果

○ 平均工賃月額：50,000円（R4）→　100,000円（R6）
○ 農作業チームの人数：3人(R4)　→　8人（R6）
○ 菌床椎茸出荷額：100万円（R5）→　200万円（R6）
○ 農地面積：0a（R4）→　2a（R6）
○ 一般就労移行者数：7名（R6）、5名（R7）

ウェブサイト▶https://rakuenproject.com/about_organization/

この情報は令和８年6月時点のものです

02-04

タグボート株式会社

地域資源：農林水産物（りんご）、耕作放棄地
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：醸造所、地元りんご農家

○令和3年にりんご果実酒事業を開始、瓶内りんごブランデーを開発。
地元農家と強固に連携し園地再生や高収益契約で地域所得拡大を実現、観光資源化も推進し地域活性化に大きく貢献。

基本情報

- 所在地：青森県平川市
- 選定表彰：
  - ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）
  - 青森県特産品コンクール青森県知事賞（R4年度）
  - ジャパンフードセレクション2025 最高賞グランプリ（R7年度）
  - 東京ウイスキー＆スピリッツ コンペティション　金賞受賞（R8年度）
- 主力商品・イベント：
  - アップルブランデー、シードル
- 活用した支援施策：
  - 事業再構築補助金事業（R３）

取組の概要

○令和３年に国の補助金を活用し、青森県産りんごを使った果実酒事業を開始。日本初の「瓶の中にりんごが入ったブランデー」を開発し、４年間の試験を経て、令和７年から販売。 地元農家と連携し、高品質なりんごの調達・仕込み量を拡大。

○令和７年には高齢化により耕作放棄を予定したりんご園を借り受け、仕込み専用園地として再生。春には仕込み体験、秋は収穫体験など観光商品化へ。

○近隣のりんご農家５軒と、一般卸価格よりも高い報酬で契約し、りんご農家の収益増を実現。りんご農家の所得向上にも寄与。

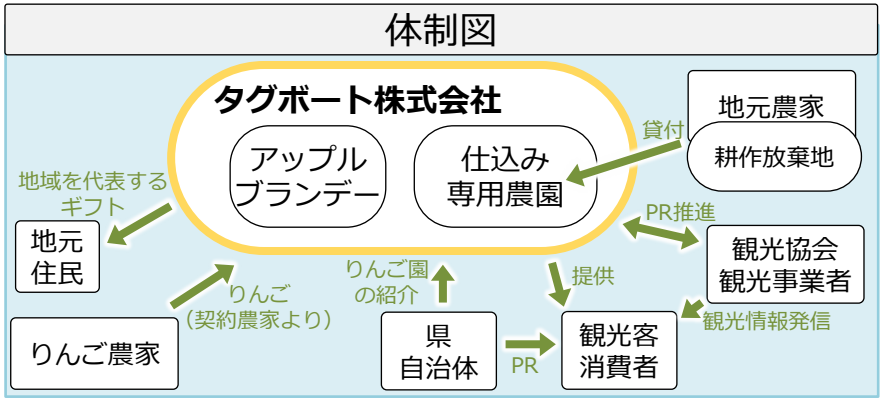


りんごが入ったブランデー


地域と共に再生したりんご園


高品質なりんご

体制図



取組の成果

○ 販売開始から１週間で完売（１個33,000円）
○ 仕込み数は令和７年春に1,000個、令和８年に3,000個を予定
○ 農家５軒と10万円の契約。卸価格の約10倍の高収益を実現
○ 事業４年で売上１億円を突破
○ 近隣30軒以上の農家と安定的に取引し、地域農家の所得向上に寄与
○ 観光事業者や自治体と連携し、ブランド力向上と観光客誘致に貢献

ウェブサイト▶ https://crazydays.jp/　https://crazy-cider.co.jp/

この情報は令和８年6月時点のものです

04-06

入谷の里山活性化協議会

地域資源：里山、古民家、農林業、伝統工芸、廃校
事業分野：観光・旅行、教育、アウトドア、イベント
事業主体：協議会、直売所、工房、農家、自治体

○震災時に沿岸支援のハブとなった南三陸町入谷地区のつながりから6団体が協議会を結成し、農泊事業を推進。
○体験型プログラムや農泊モニターを通じ「学び・滞在・仕事が循環する地域モデル」を実証。

基本情報

- 所在地：宮城県南三陸町
- 選定表彰：
  ・令和７年度農林水産祭（むらづくり部門）天皇杯
- 主力商品・イベント：
  ・食の提供（郷土料理、里山ランチ、竹皮弁当）
  ・農林水産業体験（果樹・野菜収穫・芋掘・漁業等）
  ・モノづくり体験（繭細工、木育、ミニ盆栽等）
  ・まつり（ひころの里秋まつり等）
  ・サウナ、座禅、自然観察、農泊、教育旅行、探求学習プログラム　等
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農泊推進対策）（R3～R4）
  ・農山漁村振興交付金（地域活性化型）（R8～R9）

●地域づくりの合言葉
「むらづくり、ちょっと面白いかも。」

取組の概要

○地域づくり勉強会＆人材育成
・各種講習やワークショップ、読書会の実施
・里山文化交流事業（落語会・映画会・演劇会）

○地場産食材を活用した所持の提供
・地場産80%食材を使用した里山ランチの開発等
・桑の葉パウダー食品開発（5種類）

○体験プログラムの開発
・農林体験、モノづくり体験、食の体験等

○学びが循環するむら構想
・資源を活かし、学び・滞在・仕事が循環する地域モデルの構築

今後の事業展開「入谷 里山の学びと滞在事業」
「学びが循環するむら構想」に基づき、入谷の里山を「学び・交流・実践の場」として開き、次の取組を進める。

1.滞在交流・関係人口づくり
農業・宿泊・体験を通じた短期滞在を、再訪・長期滞在・移住相談へつなげる。

2.教育・研修・探究学習
学校・大学・企業向けに、里山の暮らしや地域課題を学ぶプログラムを展開する。

3.創作・発信活動
滞在型の創作活動を促し、成果を地域の魅力発信・教材・展示等に活用する。

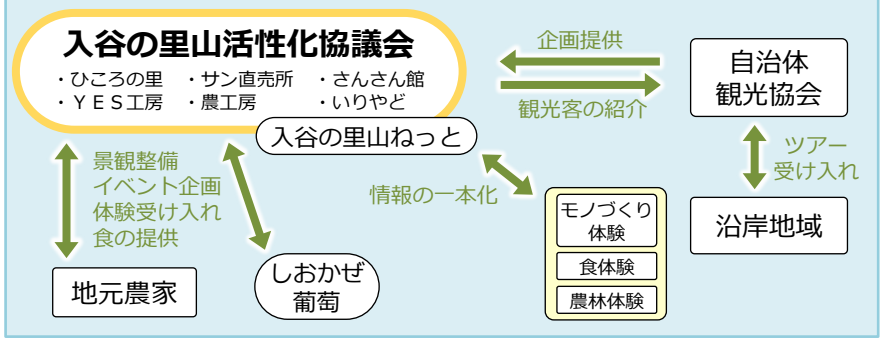
4.循環するむらづくり
「学ぶ・つくる・験す・根づく」の循環により、地域の人の活躍と持続的な交流を育てる。


入谷地区の風景


インバウンド対応体験プログラム


里山ランチ

体制図



取組の成果

～地域が一体となり、人が集まる場・共感する場づくり、小さな実践を重ねる～

・宿泊客数	令和２年	4,620名	→	令和７年　8,210名
・食事数	令和２年	7,000食	→	令和７年 13,000食
・体験受入数	令和２年	1,500名	→	令和７年　4,500名
・イベント参加者数	令和２年	500名	→	令和７年　4,000名
・サン直売所売上	令和２年	10,500千円	→	令和７年 15,000千円
・研修事業受入数	令和２年	1,000名	→	令和７年　2,707名

※令和2年はコロナ禍の影響あり

ウェブサイト▶https://iriyanosatoyama.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

08-04

農業法人 深作農園有限会社

地域資源：農林水産物（メロン、いちご、さつまいも）
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：農林漁業者

○深作農園は100年以上続く農家で、自家製堆肥の循環型農法によりメロンやいちごを栽培。
体験型施設や直売で集客し、売上や来園者数が増加、地域活性化と女性中心の雇用拡大に貢献している。

基本情報

- 所在地：茨城県鉾田市
- 選定表彰：
・ディスカバー農山漁村の宝（第12回選定）優秀賞（個人部門）
・第61回農林水産祭　内閣総理大臣賞（R4）
・第51回日本農業賞　大賞（R4）
・新しいいばらきづくり表彰（R5）
・日本さつまいもサミット殿堂入り第一号（R7）
・第１５回日本でいちばん大切にしたい会社大賞 審査委員会特別賞（R7）
- 主力商品・イベント：
・メロン、いちご、農家カフェ、バウムクーヘン等スイーツ
- 活用した支援施策：
・ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（第21次公募）

取組の概要

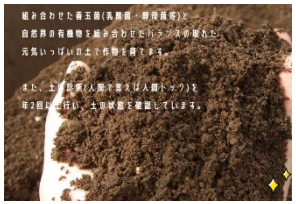
○深作農園は100年以上前から６代続く農家で、自家製堆肥を使った循環型農法でメロンやいちごを長年連作している。農業生産に加え、果物狩りやスイーツの体験型テーマパークを作って地域を盛り上げている。

○土壌中の善玉菌を活かした農法に、自然農法や有機栽培を融合させた「深作農法」を確立し、栄養価の高い作物の生産を行っている。また、ハウスの自動開閉システムや灌水（かんすい）システム、ICTセンサーを使ったほ場や生育の管理など、ICTやデジタル技術の導入による生産の効率化や省力化も図っている。

○自社直売所の運営や通信販売、イチゴ狩り・メロン狩り、深作農園の農産物を原材料としたスイーツ等の加工・販売、バウムクーヘン専門店や農家カフェの運営などに取り組むとともに、来園が難しい近年の状況を踏まえ、新たなサービスや商品の提供も積極的に行っている。

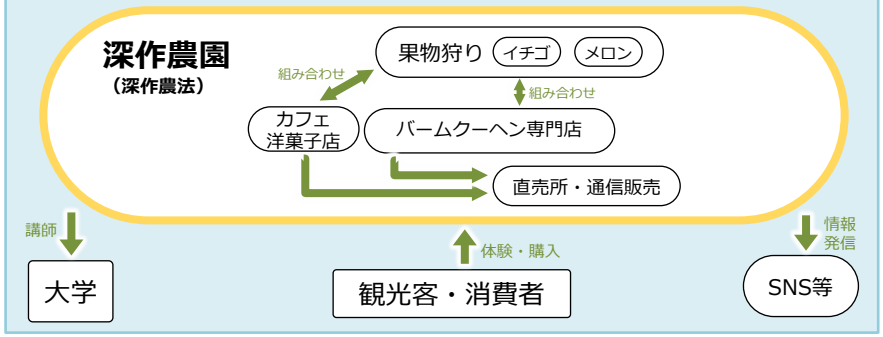
○社員の80%を女性が占め、各部門で女性が店長やリーダーを務めている。女性従業員専用の更衣室、休憩室を整備するほか、育児休暇など、出産・育児後も安心して働ける女性のライフイベントを考慮した社内制度を整備している。


深作農園のイチゴ


深作農法による土づくり


こだわりのバウムクーヘン

体制図



取組の成果

○6次産業化の売上　令和元年から令和 6 年で約 1.47 倍に増加
○いちご狩り年間来園者数　２万人　→　４万人以上
※直売や時間無制限のいちご狩りなど多彩なサービス
○従業員数は令和 ８年時点で42人、そのうち女性は約 80%の34人
※地域の雇用拡大と女性活躍推進に大きく貢献

ウェブサイト▶https://fukasaku.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

09-06

株式会社 美土里農園

地域資源：農林水産物（いちご、メロン）
事業分野：加工・販売、観光・旅行
事業主体：農林漁業者

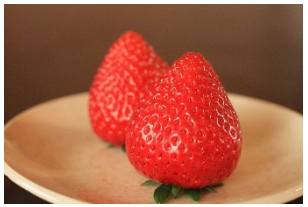
○深沢地区で遊休農地対策として設立された美土里農園は、いちご等の施設栽培や観光農園、商品開発、農福連携により収益向上と地域活性化を実現している。

基本情報

- 所在地：栃木県茂木町
- 選定表彰：
  - ・令和７年度農林水産祭（むらづくり部門）【農林水産大臣賞】
  - ・第１回全国いちご選手権【金賞】
- 主力商品・イベント：
  - ・いちご、いちご狩り、いちご加工品
- 活用した支援施策：
  - ・担い手確保・経営強化支援事業（H28）
  - ・とちぎの観光いちご園元気アップ対策事業費補助金（R3）
  - ・認定農家グローアップ事業（R6）
  - ・魅力ある中山間地域づくり事業費補助金（R6）

取組の概要

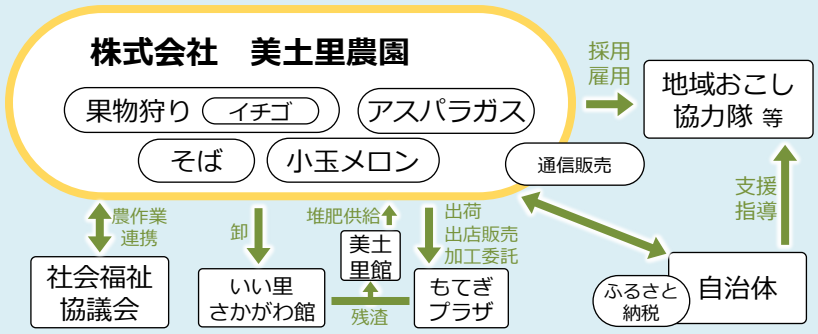
○地域おこし協力隊の受入れおよび任期終了後の直接雇用を通じて、担い手不足や高齢化に伴う耕作放棄地の解消に貢献。
○市場流通が難しい完熟いちごの生産に取組み、全国いちご選手権での金賞受賞により品質が高く評価されたことを契機に、県内外から多くのリピーター獲得し、交流人口を創出。
○町のリサイクルセンター「美土里館」で製造された「美土里たい肥」を活用することで、地域の循環型社会の形成に貢献。
○CO2を貯蔵・供給する装置や各種モニタリング装置を導入し、スマート農業を実践することで、いちごの収量増加、品質向上および省力化を推進。
○高付加価値の見込めるメロン等の栽培に取組み、耕作地が限られる中山間地域における農業モデルを構築。
○社会福祉協議会と連携し、農福連携を実践することで、地域における共生社会の実現に貢献。


金賞を受賞したとちあいか


コロタンメロンの栽培


スマート農業の実践

体制図



取組の成果

○売　　上：3,000万円（R1）→ 6,300万円（R5）
○来園者数：4,300人　（R1）→ 6,600人　（R6）
○雇用者数：6人（R1）　→ 14人（R6）※パート社員含む

ウェブサイト▶https://midori-nouen.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

18-04

株式会社 農楽里

地域資源：農林水産物（いちご）
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：就労継続支援A型事業所

○農地所有適格法人と連携し、AIやスマート農業により障がい者の作業領域を拡大し、水稲や観光いちごで農福連携を推進。暖房には地元産木質ペレットを活用。

基本情報

- 所在地：福井県あわら市
- 選定表彰：
  ・ノウフク・アワード2025優秀賞
- 主力商品・イベント：
  農福連携商品
  （農作物）米・大豆・メロン・いちご・さつまいも、柿
  （加工品）精米・かきもち・いちごジャム・あんぽ柿・合わせ柿
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村振興交付金（農福連携型）（R5）
  ・あわら市ふるさと納税3.0　(R8)

取組の概要

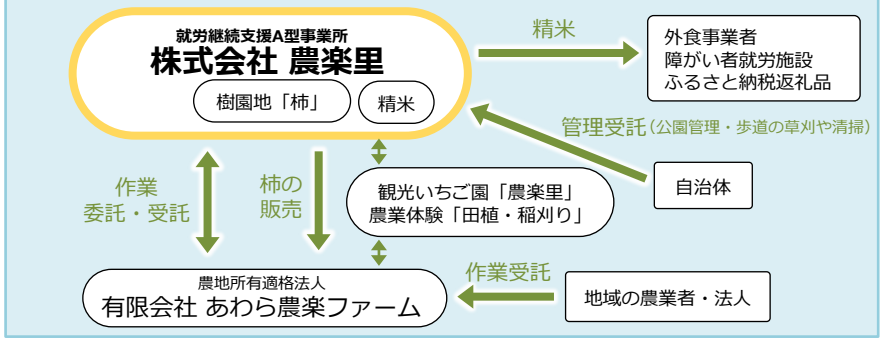
○農作業を分解することで、障がい者が自社事業及び施設外就労の農作業に従事。
○AIやスマート農業を活用することで、障がい者の作業領域を大幅に拡大し、ロボット田植機やアシスト付コンバイン等の操作にも従事。水稲栽培や観光いちご農園など、多様で楽しい農福連携を実現。
○利用者が刈払機作業安全衛生講習、ロボット農機使用者訓練講習、救命講習等を受講し、安全意識と技能の向上を図りながら先進的な農業に取り組む。
○農福連携商品の販売、ふるさと納税返礼品登録、視察・体験交流の受入れ、マニュアルや動画配信による情報発信を通じ、全国への普及啓発と交流人口の拡大を図る。
○中山間地域での農地維持や除草活動、特別栽培農産物（米・メロン）の生産、木質ペレット利用による環境配慮型農業に取り組み、地域景観の維持や持続可能な地域づくりに貢献。
○利用者による自治会活動を通じて、職場ルールの検討や研修・視察の企画立案に主体的に取り組む。


苗の補給の様子


稲刈りの様子


利用者によりデザインされた段ボール箱

体制図



取組の成果

○ 平均賃金月額	71,306円(R2)	→	87,038円(R6)
○ 売上高	642万円(R2)	→	2,145万円(R6)
○ 交流人口	1,409人(R2)	→	10,002人(R6)
○ 農地面積	74ha(R2)	→	105ha(R6)

（主要作業受託面積を含む）

ウェブサイト▶http://www.fukui-norari.jp/

この情報は令和８年6月時点のものです

23-03

株式会社 ココトモファーム

地域資源：農林水産物（米）
事業分野：食品、福祉
事業主体：農林漁業者、菓子製造・販売業者

○農福連携の取組により自社栽培したお米を活用し、バウムクーヘンなどの米粉スイーツを製造・販売。地域外企業との連携や、障害者が活躍する店舗の設置など、地域共生と多様性のある雇用創出を実現。

基本情報

- 所在地：愛知県犬山市
- 選定表彰：ノウフク・アワード2025 グランプリ
- 主力商品：
  （農作物）水稲
  （加工品）米粉バウムクーヘン
- 活用した支援施策：
  ・強い農業・担い手づくり総合支援交付金（R２）

取組の概要

○農業・加工・販売を一体化した６次産業化を実施し、特別栽培米の生産と米粉バウムクーヘン等の加工・販売を展開し、米の高付加価値化と安定収益を実現。
○カフェ経営、祭り（農業祭、ココトモフェスティバル、手話まつり）の開催・参加、見学会（ココトモファームツアー）や農業・収穫体験の開催により交流機会を創出し、地域との関係を強化。
○手話接客の「サイニングストア」では、聴覚障害者が店舗運営を担い、責任者も輩出。
○行政・大学・企業と連携し、商品開発や販路拡大など多分野での協働による事業展開を推進。
○荒廃農地の活用やれんげ農法による生産を行い、ドローンの活用等によるスマート農業の取組も行いつつ、稲作文化と景観保全を両立。

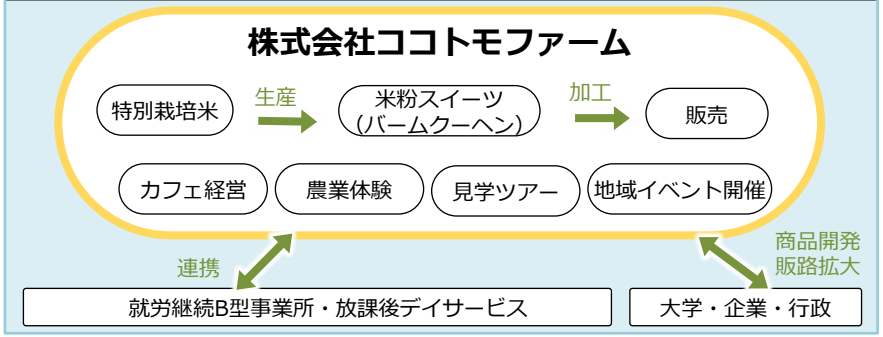

米粉のバームクーヘン



手話まつり


障害者雇用を担う企業と農業交流

体制図



取組の成果

○福祉事業所への請負報酬の支払額：0円（R２）→　782万円（R６）
○農作業に関わる障害者等の数：４人（R２）→　89人（R６）
○売上高：3,280万円（R２）→　56,106万円（R６）
○農地面積：8.2ha（R２）→　11.8ha（R６）

ウェブサイト▶https://www.cocotomo-farm.jp/

この情報は令和８年6月時点のものです

23-04

有限会社 鍋八農産

地域資源：農林水産物（米）、田（作業受託）
事業分野：食品、教育、その他（化粧品）
事業主体：農林漁業者

○ミズホチカラの一貫生産体制を構築し、米パンを開発・販売。販路拡大や運営改善で売上向上を図るとともに、地域交流拠点や地産地消を通じて地域活性化と新たな食文化の創出に取り組んでいる。

基本情報

- 所在地：愛知県弥富市
- 選定表彰：
  ・平成２８年度農林水産祭【天皇杯】
  ・第45回日本農業賞（個別経営の部）
- 主力商品・イベント：
  （農作物）水稲
  （加工品）米粉食パン・米粉菓子パン
  米粉ベーカリー・化粧品
- 活用した支援施策：
  ・農山漁村発イノベーション整備事業（産業支援型）（R5）
  ・プランナー支援（R5）
  ・弥富市飲食店等創業支援金（R6）
  ・総合化事業計画認定（R5）

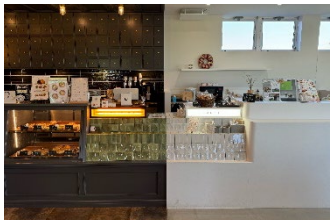
取組の概要

○パン用品種「ミズホチカラ」を自社で栽培し、加工場・直売所「EWALU」を整備。米粉パンの開発から製造・販売まで一貫体制を構築し、米の新たな需要を創出。
○マルシェや百貨店ポップアップ出店、EC販売を実施し、都市部や新規顧客層へ販路拡大を図っている。SNSアンケートを活用した商品開発で顧客参加型の運営を推進。
○モーニング・ランチの時間や価格表示の見直しにより。来店者数と売上を向上を実現。営業時間調整や提供方法の工夫で人件費削減と運営効率化を図っている。
○地元野菜の活用や交流拠点の提供により地域コミュニティの活性化に寄与。グルテンフリーの商品開発や学校給食へ展開することの検討を進め、地域経済循環の促進に貢献している。

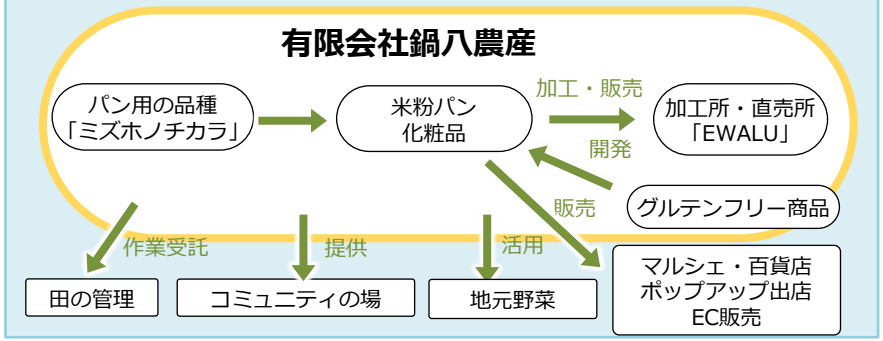


高品質なお米


グルテンフリーパン・ベーグル


加工所・直売所「EWALU」

体制図



取組の成果

○経常利益　12万円（R4）→　6,802万円（R6）
○人件費　14,955万円（R4）→ 15,294万円（R6）
○減価償却費　0万円（R4）→ 3,665万円（R6）
○付加価値額　14,967万円（R4）→25,761万円（R6）

ウェブサイト▶http://nabe8.co.jp

この情報は令和８年6月時点のものです

29-02

社会福祉法人 青葉仁会（あおはにかい）

地域資源：農林水産物、廃校
事業分野：食品、観光・旅行、福祉、教育、イベント
事業主体：食品製造業者、食料品店

○荒廃農地再生と多品目栽培を基盤に、福祉と連携した加工・販売や観光農園の運営、収穫祭を通じて地域活性化と販路拡大、フードロス削減を推進。

基本情報

- 所在地：奈良県奈良市
- 選定表彰：
  - 米・食味分析鑑定コンクール2018国際大会 プレミアムライセンスグッドファーマー
  - 令和5年度 循環型社会形成推進功労者 環境大臣表彰
  - ノウフク・アワード2023グランプリ
- 主力商品・イベント：
  - (農作物) 米、さつまいも、ブルーベリー、玉ねぎ
  - (加工品) 干し芋、レトルト・冷凍食品、菓子等
- 活用した支援施策：
  - 農山漁村振興交付金　農福連携（R３～４）

取組の概要

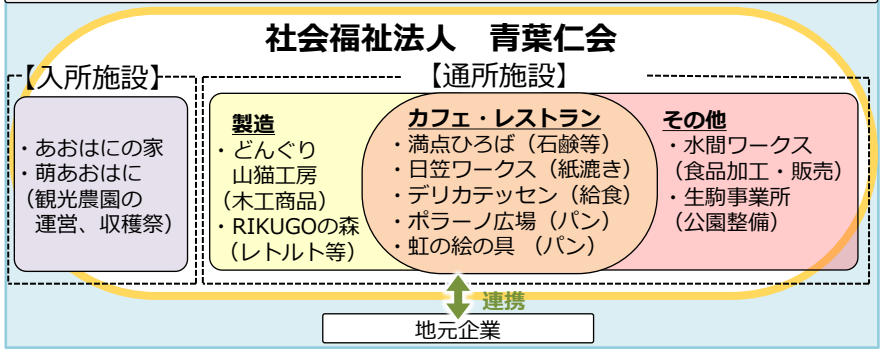
○荒廃農地を再生し、米・さつまいも・玉ねぎ・じゃがいも等の主力作物に加え季節野菜20種類以上やブルーベリー・栗などの果樹を栽培。多品目の農業生産体制を構築。
○収穫祭を開催し、県内外から来場者を集めることで地域交流と集客を促進し、農業体験や観光的価値の創出に取り組んでいる。
○収穫物を法人内のカフェ・レストランで活用するとともに、ジャム・カレー・干し芋・惣菜等の加工品を製造し、障害者が中心となって働く就労機会を創出している。
○OEM受託や自社製品を全国展開するなど、販路拡大に努めている。
○地元企業と連携して廃棄予定の野菜の端材を加工・販売する体制を整備し、フードロス削減を推進している。


米粉製品


カフェ・レストラン「ハーブクラブ」


あおはにの家

体制図



取組の成果

・耕作放棄地の再生（作付面積）	0.8 ha（H24） → 10 ha（R7）
・農作物収穫量	1 t（H24） → 60 t（R7）
・ブルーベリー園来園者数	200人（H24） → 5,400人（R7）
・農業に係わる利用者数	15人（H24） → 60人（R7）
・雇用者数	252人（H24） → 393人（R7）

ウェブサイト▶https://aohani.org/

この情報は令和８年6月時点のものです

32-03

奥出雲町農業遺産推進協議会
世界農業遺産・日本農業遺産認定「たたら製鉄を再適用した奥出雲地域の持続可能な水管理及び農林畜産システム」

地域資源：農林畜産物、棚田、歴史文化
事業分野：農業、食品、観光・イベント
事業主体：農業者、住民、各種団体、自治体

○仁多米、奥出雲和牛、ソバ、キノコ等のブランド化を推進し、ふるさと納税返礼品として活用。町内事業者は地元産品を使った農産加工品の製造に取り組む。棚田景観、農泊や農業体験、食、歴史文化を結び付け、観光誘客を図る。

基本情報

- 所在地：島根県仁多郡奥出雲町
- 選定表彰：重要文化的景観、日本遺産（文化庁）
  - ・日本農業遺産認定（H31.２）
  - ・世界農業遺産認定（R７.８）
- 主力商品・イベント：
  - ・仁多米、奥出雲和牛、そば、椎茸、舞茸等
  - ・棚田ライトアップ「たたらの灯」、そば祭
- 活用した支援施策：
  - ・中山間地域等直接支払交付金（営農活動支援）
  - ・多面的機能支払交付金（水路等の維持保全）
  - ・奥出雲在来小そば作付奨励事業
  - ・畜産振興対策事業（和牛振興、農家支援）
  - ・第三セクター、農業公社による農業者支援
  - ・地域おこし協力隊員の登用（就農希望者）

取組の概要

○仁多米、奥出雲和牛、ソバ、シイタケ等のキノコ類を中心としてブランド化を推進。奥出雲町ふるさと応援寄付金の返礼品として農産品の利用実績が伸びている。
○世界農業遺産ロゴマークを作成し、奥出雲町産の農産品、加工品にロゴマークシールを事業者が貼り付けることで、農業遺産のPR、産直施設での販売促進に取り組む。
○令和元年６月に農泊の取組を開始。町観光協会と連携しながら、棚田の米作り体験、郷土食のそば打ち、もちつきなど体験型・滞在型の観光客が増えつつある。
○H17年から開催された「新そば祭り」をきっかけに、秋の紅葉時期は観光客で賑わう。町内の蕎麦店では数量限定で在来種のそばを提供、「横田小そば」の保存にも寄与。



砂鉄採掘跡地に造られた棚田

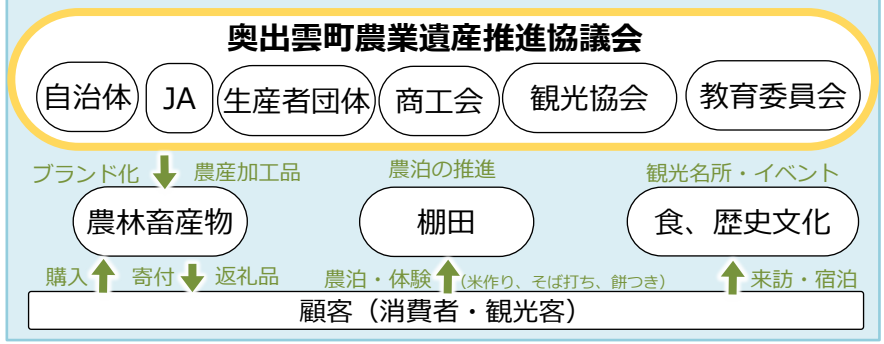


世界農業遺産ロゴマークを貼付して「仁多米」をＰＲ



農泊・農業体験の提供（そば打ち体験）

体制図



取組の成果

○ふるさと応援寄付額：1.7億円（H28）→ 7.7億円（R6）
仁多米、奥出雲和牛、椎茸等は返礼品として人気を集めている。
○農泊施設：１施設（H30）→ ６施設（R6）　新規体験プランを造成
○新そば祭り（そば提供食数）：13,473人（H28）→ 18,996人（R1）
現在、町内の蕎麦店に行列ができるなど、そば処として定着。

ウェブサイト
▶https://www.town.okuizumo.shimane.jp/sekainogyoisannintei/1755475041452.html

この情報は令和８年6月時点のものです

42-02

株式会社 アグリ・コーポレーション

地域資源：耕作放棄地、農林水産物、遊休施設
事業分野：食品、観光・旅行、教育、アウトドア
事業主体：農林漁業者、加工・販売事業者

○有機農業で耕作放棄地50haを再生し、甘藷を主力に加工・製品化。食品製造や人気商品展開で収益化し、今後は宿泊・飲食事業で雇用創出と地域活性化を図り、オーガニックをプラットフォームとした街づくりを目指す。

基本情報

- 所在地：長崎県五島市
- 選定表彰：
  - 未来につながる持続可能な農業推進コンクール　生産局長賞
  - 2040年夢コンテスト最優秀賞
- 主力商品・イベント：
  - 生いも（有機安納芋、有機紫芋）、おしゃぶー（有機安納芋、有機紫芋、芋おとめ）、ひとくち焼き安納芋、有機ペースト、有機パウダー、有機焼き芋
- 活用した支援施策：
  - 五島市輸送コスト支援事業（R6）
  - 五島市雇用機会拡充支援事業（R6）
  - 長崎県農山漁村発イノベーションサポート事業（R4～R6）

取組の概要

○「オーガニックをプラットフォームとした街づくり」をビジョンとして、これまでに100%有機（甘藷・大麦・小麦）で計50haの耕作放棄地を再生。安納芋が主力農産物。2019年に食品工場を完成させ、ペーストやパウダーの製造を実施。栽培した甘藷は青果のほか、規格外品を100%一次加工品・製品化することで収益化している。有機栽培という特徴を生かして開発した赤ちゃん向けの干し芋は大手ベビーフード小売店で取り扱われる程の人気で、当社の看板商品である。一次加工品は、菓子や製パンなど様々なメーカーに卸している。2019年に輸出商社を立ち上げ東南アジアを中心に輸出を拡大している。

○築50年の廃ホテルを再生し、宿泊・飲食事業を令和８年度より開始、島内における雇用の創出や移住支援に貢献。

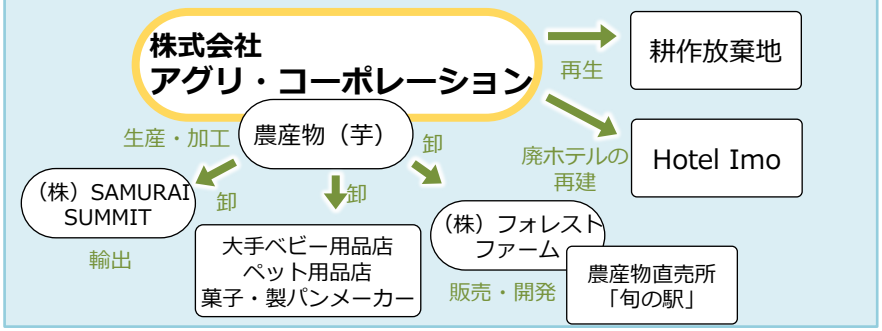

有機安納芋


ベビーフード



遊休施設を活用したホテル

体制図



取組の成果

○作付面積　4,000a（R2）→5,000a（R6）
○雇用　37人（R2）→60人（R8）
○売上高　1億3,556万円（R2）→2億4,658万円（R7）

ウェブサイト▶http://osyaburi.jp/company/index.html

この情報は令和８年6月時点のものです

44-04

株式会社 ドリームファーマーズJAPAN

地域資源：農林水産物、古民家、農村景観
事業分野：食品、観光・旅行、イベント
事業主体：商品・ブランド開発、農林漁業者

○市場規格外ぶどうのアップサイクルとしてドライ加工事業からスタート。耕作放棄地を再生させ、ぶどうの生産・加工・販売のサイクルを基幹事業としている。空き家のアップサイクル事業による農泊や古民家宿泊施設の運営を通じて地域資源を活用した体験型観光を推進。農業、観光、地域交流を組み合わせ地域活性化や関係人口創出に取り組む。

基本情報

- 所在地：大分県宇佐市安心院町
- 選定表彰：
  - 平成25年度農林水産大臣賞（全国青年農業者会議プロジェクト発表）
  - 平成26年度大分合同新聞社賞
  - 平成30年度九州農政局「ディスカバー村の宝」選定
- 主力商品・イベント：
  - ドライフルーツ、ブドウ狩り、カフェ運営、農泊
- 活用した支援施策：
  - 6次産業化総合化事業計画認定（H24）
  - 起業育成支援（R5）

取組の概要

○市場規格外農産物の高付加価値化として、ドライフルーツの製造・販売に取り組み、ミカンやトマトなど地域産品へ展開。廃棄ロスの削減と農家所得の向上を実現。
○地域農産物のブランド化では、素材本来の味や香りを引き出す加工技術を確立し、安心・安全な商品づくりを通じて付加価値向上と地域ブランドの形成を推進。
○交流拠点「農村BASE」を整備し、グリーンツーリズム体験やセレクトショップ運営、交流イベント、ぶどう収穫体験などを実施。地域内外の交流を促進し、交流人口・関係人口を拡大。
○YouTubeやSNSによる情報発信で、ぶどう栽培や地域の魅力を広く紹介し、農業への理解促進や新たなファンの獲得、来訪者増加に取り組む。
○農泊事業では、古民家を活用した宿泊施設「別邸龍王乃家」「別邸龍王の道」を運営し、農業体験や住民交流を提供することで滞在型観光を推進。
○これら農業・加工・観光・交流を一体的に展開し、地域経済の活性化と持続可能な農村づくりを目指す。

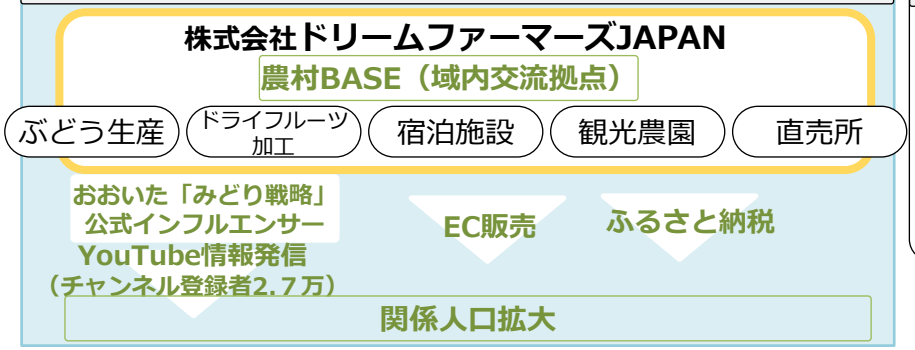

ドライフルーツ


一棟貸切りの宿「古民家BASE・龍王」



YouTubeによる情報発信

体制図



取組の成果

○ 売上　400万円（H24）→6,000万円（R7）
○ 従業員数　1名（H24）→20名（R8）
○ 宿泊施設　1棟（R5）→4棟（R8）

ウェブサイト▶https://dreamfarmersjapan.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

46-01

「暮らしの宿　福のや、」
「大野岳の麓　茶や、」

地域資源：農林水産物、景観、空き家
事業分野：食品、観光・旅行
事業主体：特定非営利活動法人、農林漁業者

○空き家を活用した農家民宿を運営するとともに、農業や地域の暮らしを体験する「畑旅」を企画・実施。宿泊と地域店舗等を結び付けることで地域内の経済循環を生み出し、地域活性化に貢献。さらに、農家民宿の開業支援や研修を通じて、新たな受け入れ事業者の育成や農泊の普及にも力を注いでいる。

基本情報

- 所在地：鹿児島県南九州市頴娃町
- 選定表彰：
  ・ディスカバー農山漁村の宝（第９回個人部門）
  ・ジャパン・ツーリズム・アワード（Ｒ７）
  ・オーライ！日本大賞（Ｒ７）
  ・ふるさとづくり大賞　優秀賞（R6）
- 主力商品・イベント：
  ・農村体験プログラム「畑旅」
- 活用した支援施策：
  ・小規模事業者持続化補助金（H30）
  ・鹿児島県「ポストコロナ農業生産体制革新プログラム事業」（Ｒ３）

取組の概要

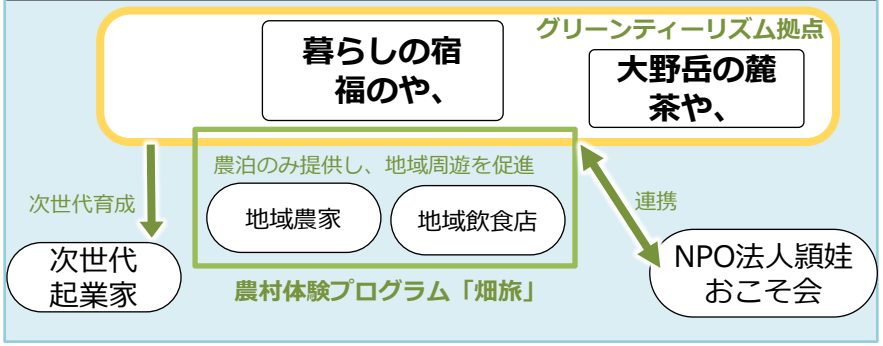
○空き家を改修した農泊施設を運営。
○農業が盛んで，美しい景観を持つ頴娃町の特徴を活かした農村体験プログラム「畑旅（はたたび）」を企画運営。
○一棟貸の宿泊施設「福のや、」は宿泊のみ提供を行い，食事などは地域内の店舗を紹介することで地域活性化、PRに寄与。
○農家民宿開業についての研修会開催や、アドバイザーとして助言するなど次世代の育成にも貢献。


1日１組限定1棟貸し「福のや、」


大根やぐら見学


グリーンティーリズムの拠点「茶や、」

体制図



取組の成果

○宿泊者数：年間約400名（そのうち約30%がリピーターとして再訪）
○地域農産物を使った加工品の商品開発：全国約20店舗で加工品販売
○農業者や地域づくり関係者向けに農村観光の普及促進を目的とした講演会や研修会の開催：年12回（R7）
※上記取り組みはH29より開始。開始前は宿泊者・加工品・研修会開催全て実績無し

ウェブサイト▶https://www.fukunoya-ei.com/

この情報は令和８年6月時点のものです

47-03

株式会社 日本バイオテック

地域資源：農林水産物（海ぶどう）、景観
事業分野：食品、観光・旅行、福祉
事業主体：農林漁業者

○海ぶどうの陸上養殖を起点に、6次産業化と体験型観光を融合。多様な体験メニュー整備や障害者雇用、商品開発・輸出拡大により地域活性化と雇用創出を実現した取組。

基本情報

- 所在地：沖縄県糸満市
- 選定表彰：
  - ・第12回「ディスカバー農山漁村の宝」特別賞（R7）
  - ・第10回ものづくり日本大賞（経済産業大臣賞）
  - ・NIKKEI THE PITCH GROWTH 2024-2025 オーディエンス賞（令和７年３月
- 主力商品・イベント：
  - ・海ぶどう、海ぶどう加工品（そば、ソフトクリーム、長期保存可能な「塩水海ぶどう」収穫体験、サバ二体験等
- 活用した支援施策：
  - ・食料産業・６次産業化整備交付金
  - ・沖縄県地域資源活用・地域連携サポートセンター（R5）

取組の概要

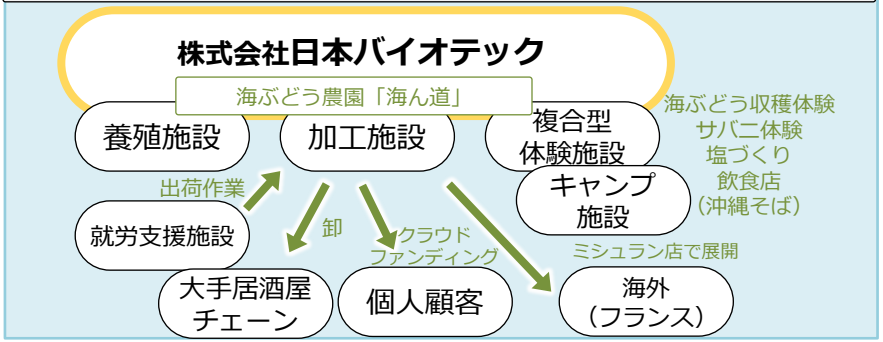
○海ぶどうの陸上養殖を核に事業を開始し、地域資源を活用した体験型観光施設へと発展させる取組を推進。
○女性・高齢者・障害者を積極雇用し、6次産業化を通じて地域活性化と地元雇用創出に取り組んだ。
○収穫体験、塩づくり、サバ二体験など多様な観光コンテンツを整備し、複合型体験施設として運営した。
○規格外品の活用商品開発や農福連携、保存性の高い（業界最長となる2年間常温長期保存）塩水漬け商品の開発により輸出拡大を実現。


海ぶどう丼


海ぶどう養殖場


海ぶどう摘み取り体験

体制図



取組の成果

○ 海ぶどう売上額（加工品含む）：9,588万円（R2）→18,583万円（R6）
○ 海外への輸出額：10万円（R2）→400万円（R6）
○ 地元雇用：14人（R2）→37人（うち4人は障害者）（R6）
○ 6 次産業化によって売上額は令和７年度に2.5 億円を超えるまでに成長

ウェブサイト▶https://www.uminchi.com/

この情報は令和８年6月時点のものです